

# スーダン- 国内避難民が多い3州において、女性と女児のSRH関連の罹患率・死亡率を減らすための、サービスアクセス向上と地域社会の持続可能性強化

2024年1月 - 2025年6月



日本政府支援によるプロジェクトで提供されているモバイルクリニック

## 背景

スーダンは、世界最大級かつ最も複雑な人道危機に直面しています。武力衝突、大規模な避難や公共サービスの崩壊により、数百万人が必須保健サービスを利用できなくなっています。

国内の医療施設の70%以上が破壊され、3,040万人以上が人道支援を必要としています。

国連女性機関(UN Women)によれば、2024年にはジェンダーに基づく暴力(GBV)に関する支援に対する需要が288%増加し、女性が最も大きな負担を強いられています。

## プロジェクト概要

本プロジェクトは日本政府の支援を受けて、IPPFスーダン(Sudan Family Planning Association: SFPA)が実施しました。紛争の影響を受けた3つの地域、ゲダレフ、ポートスーダン、アトバラで命を守るSRHサービスへのアクセスを支援しました。

プロジェクトは、女性や女児、とりわけ国内避難民(IDP)のSRHRに関連する罹患率・死亡率の低減に重点を置き、緊急対応サービスパッケージ(MISP)に沿って、多角的な地域密着型の支援を行いました。

対面サービスに加え、コールセンターを通じてリモートでのカウンセリングや紹介サービスも拡充しました。研修を受けたカウンセラーが、SRH、GBV、メンタルヘルスに対応し、IPPFスーダンは、保健省や地域のパートナーと緊密に連携し、クリニック、モバイルチーム、デジタルシステムを活用して継続的なケアを確保しました。

本プロジェクトは、SRHRやGBVに関するリスクからIDPを守るため、無料のSRHサービス、シェルター、GBVサバイバーへの法的支援などを積極的に実施し、人間の安全保障に貢献しました。教育や啓発セッションを通じて女性のエンパワーメントを促し、パートナーシップを通じてコミュニティの回復力も強化しました。

これらの統合的な取り組みにより、紛争の影響を受けたコミュニティの保護とエンパワーメントが実現し、人びとの尊厳と自立の回復につながりました。

## 目標

1. 村落助産師に質の高い産科・新生児ケアの研修を実施
2. モバイルクリニックの活用やコミュニティレベルでの出産対応強化によるSRHサービスへのアクセスの拡大
3. 適時かつ正確な意思決定を可能にする保健・医療情報システム(HIS)の改善
4. サバイバーケアや性暴力の臨床管理(CMR)研修を含むGBVの予防・管理
5. 遠隔医療や強化された国内のSRHコールセンターを通じたSRHサービスへのアクセス拡大

## 主な成果

  
123,284件

提供されたSRHサービス

  
27,744件

提供された避妊サービス

  
7,378件

提供された産前ケアおよび母子保健サービス

  
1,833件

提供されたGBVサバイバーへのカウンセリング、紹介サービス

  
105人

研修を受け配属された村落助産師数

  
129人

MISP、HIS、GBVサバイバー支援、遠隔医療の研修を受けた医療従事者数

  
155人

GBVケアおよび性暴力の臨床管理研修を受けた医療従事者数

  
3,133件

提供された安全な中絶関連サービス（カウンセリングを含む）および抗レトロウイルス（ARV）療法

  
15,338件

提供されたHIV関連サービス

  
3カ所

設備が整い稼働可能なモバイルクリニック



プロジェクトが支援するIPPFスーダンのコールセンターで対応する医療従事者



プロジェクトが支援するモバイルクリニックで診察を受ける利用者

## 主な活動

- ・ 複合専門チームによるモバイルクリニックを3つ配備・運用し、国内避難民（IDP）と受け入れコミュニティに医療サービスを提供
- ・ 保健省の基準に基づき、100名上の村落助産師を採用・配置
- ・ 常設診療所とモバイルプラットフォームを通じ、避難民や受け入れコミュニティにSRHRおよびHIVサービスを提供
- ・ 助産キットを配布し、サービスの質維持のためのフォローアップ指導訪問を実施
- ・ MISP、HIS、GBVサバイバー支援、遠隔医療に関するサービス提供者研修を実施
- ・ 紹介、カウンセリング、医療、安全なシェルター提供など、サバイバー中心のGBVサービスを提供
- ・ 性暴力サバイバーに、曝露後予防（PEP）、性感染症（STI）治療、緊急避妊薬を含む臨床ケアを提供
- ・ GBV の紹介ルートを可視化し、国や市域のパートナー団体と協力してサバイバーケアを改善
- ・ 最新の HIS ツールを配布し、CRM システムをデジタルクライアント管理プラットフォームに統合
- ・ コールセンターの設備を強化し、リモートカウンセリングやフォローアップサービスを支援
- ・ 啓発セッション、アウトリーチキャンペーン、紹介を通じてコミュニティの参加を促進
- ・ 保健省や関係機関と緊密に連携し、統合的なサービスを提供

### ナディマ、16歳、性暴力のサバイバー

「IPPFスーダンのおかげで診察や検査や心理面のケアを受けられ、さまざまな支援をしていただきました。スタッフが『勇気を持って……何も恐れずに夢を追いかけて』と言ってくれたのは、心の支えです」